

学校だより



いなみっ子

令和6年12月20日

南砺市立井波小学校

12月号 第362号

井波小学校HPアドレス

<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

題字 3年 前川 紹巴さん

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

本気と真剣

校長 中町 寿子

弾道ミサイルの威力はどれほどのものか。一般的に建物やビル等が大きく破壊され、爆風に伴う破片が大量に飛散し、それに伴う被害や火災による被害が発生するといったことが書かれた記事を読んだことがあります。これだけでも地震とはまた違う恐れを感じます。

1年前に、市の防災危機管理係の方から「ミサイル訓練をやってみたい学校はありませんか」と声を掛けていただいたとき、真っ先に手を挙げました。今年度に入り、打合せや教職員対象の研修、更には2回の聴取訓練(避難の動きを確認する)を踏まえて、11月14日(木)にミサイル対応訓練を実施しました。

県内の小学校では、初となる訓練ということでしたので、2回の事前訓練では、県の防災・危機管理課の方や市の担当の方にも来ていただき、問題点や疑問点を基に話し合い、その都度、教職員で研修や打合せを行い次の訓練に生かしました。

当日のミサイル対応訓練では、Jアラートがなった瞬間に「逃げろ」という子供たちの声が聞こえ、一斉にグラウンドから校舎に入ってくる姿や、すぐに教室の机を移動し、壁に寄せて机の下に入る姿が見られました。子供たちの真剣な様子にやってよかったと思いました。

さて、いつだったか、校長室に遊びに来てくれた5年生の子供たちに、「校長先生は、避難訓練の時は、めっちゃまじ(真面目)だよな。」って言われました。この言葉は、私にとってはとてもうれしいものでした。まずは私の真剣さが伝わらなければ、子供たちにとって必要感のある避難訓練にはならないと思っていました。ですから、今回、大切にすることは、「教員の本気を見せる!」でした。もちろん、日頃の訓練でも真剣なのですが、子供たちには、私たち教職員の姿からも命を守る大切さを感じてほしいと願い、合言葉としました。私たちが子供たちの命を守ることと、子供たちが自分で命を守ることができるよう避難訓練を大切な機会として今後も取り組んでいきたいと考えています。

目指す姿

- ① 率先避難者になれ!
「避難するぞ」「逃げろ」は大人も子供も声を出す
- ② 全力で逃げろ!
- ③ 予想を超えてくると考えろ!



令和7年1月の行事予定

- ～7日(火) 冬季休業
- 8日(水) 第3学期始業式 給食開始
校内書き初め大会
13:40下校
- 14日(火) 集団登校
通学バス路線変更(山野先回り)
- 16日(木) 避難訓練(火災)
アルミ缶回収



- 23日(木) スキー教室(4・6年)
- 31日(金) スキー教室(3・5年)
井波中学校入学説明会(6年)



ボランティアの輪を広げよう

ボランティア担当 宮崎 千尋

ボランティア委員会のアルミ缶回収にご協力くださり、ありがとうございます。今年は委員会の子供たちの発案で「ボランティア運動会」に取り組みました。ボランティア運動会とは、ボランティア委員会が企画した取組に参加した人に色団別のシールを渡し、そのシールの数を3つの団で競うというものです。

4月当初、今年度の活動予定について子供たちと話し合いました。「去年は、目標とするアルミ缶の量に届かなかった。」「もっとボランティアに参加する人が増えてほしい。」「見た目で見結果がわかるように各団で競うのはどうかな?」「去年アルミ缶回収を忘れた人がたくさんいたから、2日間連続で集めたらいいと思う。」「忘れず持って来られるように、前日に放送をしよう。」など、ボランティアに参加する人を増やすためにどうしたらよいか繰り返し話し合いました。そして、ボランティア運動会の準備に入りました。

アルミ缶回収日の朝、回収袋の前には長蛇の列ができ、ボランティア委員の子供たちは大忙し。玄関には「ありがとう」の声と笑顔がいっぱいでした。「今、赤団のシールが〇個だったよ。」「今日忘れたけど、ボランティア運動会がんばりたいから、明日持ってくるね。」「シールたくさんになって嬉しいね。」などとシールの掲示板の前で盛り上がる様子もありました。アルミ缶回収で集まったお金は、楽寿荘へのプレゼントと子供たちが学校に必要なと考えた物品の購入に使用する予定です。子供たちの思いと取組が形になって、ボランティアの輪が広がろうとしています。



元気いっぱい井波っ子



2年 「秋の町たんけん」

2学年主任 棚田 賢也

先日、秋の町たんけんに出かけました。訪問先は、子供たちの希望を聞きながら、八日町通りのお店やお寺等に決めました。

訪問先の一つである若駒酒造場さんでは、お酒作りに関する話を伺った後、酒蔵にあるいろいろな設備や道具について質問していました。また、お酒の匂いを嗅いでみたいという子供たちのリクエストに応えてくださり、いろいろなお酒の香りを嗅がせてくださいました。

子供たちは、お酒によって香りが違うことを見付けていました。



5年 「井波の大地のめぐみとわたしたち」

5学年主任 江田 沙織

総合的な学習の時間に井波の郷土料理の一つであるかぶらずしについて調べました。三清のかぶらずし醸房の寺西さんに来校して頂き、かぶらずしの作り方や歴史等についてお話を伺いました。後日、材料の大カブを育てておられる畑を見学し、栽培方法の工夫について質問したり、カブを生で食べさせていただいたりしました。

子供たちは、みずみずしさや甘さに驚きながらおいしそうに味わっていました。

